

### 【申請タイトル】

リサイタルにおける、オペラ「女はすてき」と日本歌曲コンサートの開催

### 【サブタイトル】

地域に根差した芸術・文化発展の活動のために

### 【助成金の使い道】

#### 〔概要〕

故郷である名古屋市にて、声楽作品やオペラの魅力や楽しさをお届けしたく、2018年よりリサイタルやオペラを企画・出演しており、4回目となる今回のリサイタルは、「椰子の実」や「落葉松」などの聞きなじみのある日本歌曲のコンサートを前半のプログラムに、後半では、石井勲作曲「ソプラノのためのモノ・オペラ『女はすてき』」を上演します。  
名称／田川えりソプラノ・リサイタル 女はすてき～日本の詩に寄せて～

日時／2022年9月10日（土）14時開演

場所／中川文化小劇場（名古屋市中川区）

出演／ソプラノ：田川えり（女役）、俳優：青山郁彦（エンマ大王役）、ピアノ：西岡雄太、  
ドラム・パーカッション：山田信晴

※青山郁彦、山田信晴は2部のみ出演

#### 〔詳細〕

##### ≪プログラムについて≫

今回、リサイタル全体を通して、日本歌曲や日本語のオペラを演奏します。

前半の1部では「椰子の実」「落葉松」などの聞きなじみがあるような日本歌曲、そして馴染みある言語である日本語で演奏をすることにより、初めてクラシックの演奏会を聞きにいらっしゃる方にも楽しんでいただけるようなプログラム構成をします。

後半の2部は、石井勲作曲「ソプラノのためのモノ・オペラ『女はすてき』」の上演で、曲の途中では朗読のようなシーンや「女」と「エンマ大王」によるセリフの掛け合い、音楽はワルツのように優雅な曲やジャズのような曲、シューベルト作曲「野ばら」やテレビ番組の主題歌が伴奏に散りばめられていたりなど、音楽的にも芝居的にも様々な要素が詰まった楽しい作品となっています。

また、初めてオペラをご覧になる方の中には、「オペラは上演時間が長そう」「オペラってなんだか難しそう」とイメージされる方もいらっしゃるかと思います。

モノ・オペラ「女はすてき」の上演時間は全1幕・50分ほどで、「1日が24時間では足りない」「明日はどの服で出かけましょうか」など、日常生活の中で共感したことのあるような歌詞もあり、これまでオペラを観たことのある方も、観たことのない方も、これまでのオペラに対するイメージが変わるような作品となっています。

《地域に根差す芸術・文化発展のひとつとして》

今回のリサイタルで共演する3名は、東海地方出身または在住者であり、本公演を通じて一緒に地元を盛り上げるとともに、ご来場いただく方々に地元を拠点に活躍する演奏者や俳優を知っていただくきっかけとなれればと考えております。

また、これまでに自主企画ではない他の主催者様の公演でも、地域に根差した芸術・文化発展のための活動に繋がるよう、東海地方出身者や、この地域を中心に活躍する演奏者と公演を行っております。

今回は東海地方にゆかりのある方々との共演ですが、これまで東京を拠点にしていた頃から現在に至るまでに会った演奏者や舞台制作者（舞台監督や照明・美術など）とのご縁も大切にしており、県外や東海地方以外の方と名古屋で演奏することで、共演する方にこの地域の魅力をお伝えし、その結果として地域の発展へと結びつくのではないかと思います。

#### 【将来の夢】

私は大学進学のため上京し、大学卒業後6年ほど東京を拠点とし演奏活動を続けておりました。

2018年より名古屋に戻りましたが、上京した頃からずっと変わらない、大切にしている夢があります。

それは、「自分が学んだことを、故郷の名古屋、そして中川区へ持ち帰り伝えること」「名古屋市中川区が『音楽の街』と呼ばれること」です。そのために、叶えていきたい夢があります。

#### 《10年後までの夢》

地域に根差した芸術・文化発展の活動のひとつとして、名古屋市内や中川区でリサイタルやコンサートなど継続した演奏活動をすること、そして今後は中川区を拠点としたオペラ団体を立ち上げ、名古屋市や愛知県、東海地方にゆかりのある演奏者と共に、音楽の楽しさ、オペラの魅力を発信していきます。

10年後には「中川区のオペラ、県外でも観に行きたい！」「中川区のオペラ、いつもチケットがすぐに売り切れちゃうの！」と来場者に言っていただけのような、また出演者や舞台関係者からは「中川区のオペラに関われるって嬉しい！」と言っていただけのような、お客様にも舞台関係者にも愛されるような団体を作り上げていきたいです。

#### 《20年後、そしてその先の夢》

リサイタルやオペラを継続していくこと、その先の将来の夢として、「中川区=音楽の街」として発展し、全国的に知っていただけるようになることです。

中川区には中川運河という運河が流れており、運河を挟んだ両側には倉庫や工場などが多く立ち並んでいます。

その中川運河周辺の倉庫や、広い企業の敷地を活かし、各地でコンサートを開催したり、カフェや公園、学校などで演奏をしたりと、まるで「ラ・フォル・ジュネ」のように街全体が音楽に包まれ、どこに行ってもいろいろな音楽が聞こえるような街へとしていきたいです。

そのためにも、まずは今回の9月10日のリサイタルでご来場の皆様にお楽しみいただけるよう、日本歌曲やモノ・オペラの魅力をお届けいたします。

そして今後も多くの方々に楽しんでいただけるようなコンサートを継続させ、地域に根差した芸術・文化発展へと結びついていくような活動をし続けていきます。

#### 【プロフィール】

ソプラノ／田川えり

名古屋市 中川区出身。

名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、国立音楽大学音楽学部演奏学科声楽専修を卒業、ならびにオペラ・ソリストコースを修了。現在、日本声楽家協会正会員、日本声楽アカデミー準会員。

第60回全国学生音楽コンクール名古屋大会第1位、第16回万里の長城杯国際音楽コンクール声楽一般の部第1位および審査員特別賞、第11回岐阜国際音楽祭コンクール一般の部第1位、その他多数コンクールにて受賞。

オペラ「フィガロの結婚」スザンナ役、オペラ「ラ・ボエーム」ムゼッタ役、オペラ「電話」ルーシー役などを演じ、国立音楽大学主催「ソロ・室内楽コンサート」や「卒業演奏会」、読売新聞社主催「中部新人演奏会」、宗次ホール主催「ランチタイム名曲コンサート」、文化庁「文化芸術による子供の育成事業」などに出演。これまでに、坂井いづみ、故朝倉蒼生、佐藤ひさらの各氏に師事。

生まれ故郷である中川区で、クラシック音楽やオペラなどの芸術文化を広めたい思いから、2018年以降名古屋市内にて、リサイタルやモノ・オペラを企画・開催している。